

患者さんへ 当院で実施する研究に対するご協力をお願い
「ネーザルハイフロー（NHF）装着中患者の苦痛・不快感と
温度との関係性 ～室温からくる考察～」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023年8月～2024年4月に当院6階東病棟入院中、ネーザルハイフロー（以下NHF）を装着していた方
2 研究目的・方法	<p>近年、高流量・高濃度の酸素を供給できるデバイスとしてNHFが注目されています。NHF装着は非侵襲性陽圧換気療法(NPPV)に比べ食事や会話が容易である等、快適さに対する反応等は先行研究で明らかにされています。しかし、日々看護を実践する中で、（鼻）カニューラを使用した高流量酸素投与システムであるNHF装着患者さんから苦痛や不快感などの訴えを聞く機会が度々ありました。特に、加温と加湿による温度に対する不快感の訴えが多かったため、看護の視点で介入できることはないかと考えました。</p> <p>そこで、本研究では、NHF装着患者さんが感じる不快感と不快指数（蒸し暑さを示すもの）の計算値が一致しているかを調査し、両者の関係性を検討させていただきます。そうすることで、NHF装着患者に対する日常の看護に研究結果を活かし、質を向上させることが期待できます。</p> <p>研究の期間：施設院長許可（2024年8月予定）後～2024年10月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さん/さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	研究対象者背景（年齢、性別）病歴情報（原疾患）、NHF装着時の不快感の訴えに関する記述 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 和泉市立総合医療センター 看護部 6階東病棟 師長 山本 真美（研究責任者） 所在地：〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1 連絡先：0725-41-1331</p>

2024年9月9日作成（第1.1版）

